

■ent-5.1.6 リビジョン説明書

ent-5.1.6 リビジョンには、ent-5.1.1～ent-5.1.6 の各リビジョンでの修正が累積して含まれます。
ent-5.1.6 リビジョンを適用することで、未適用の修正がすべて適用されます。すでに適用済みのリビジョン（例：ent-5.1.1）がある場合でも、その修正が再度適用されることはありません。
特定のリビジョンのみを適用した場合、動作は保証されません。必ず ent-5.1.6 リビジョンを適用してください。

【対象バージョン】

PassLogic エンタープライズ版 Ver.5.1系（RHEL 8）

【適用範囲】

すべてのPassLogic認証サーバー
（ゲートウェイサーバーへの適用は必要ありません）

【修正内容】

▶ ent-5.1.1

管理ツールの「ポリシー設定」において、「認証方式」で「TOTP」を選択し、「PINコード変更時に現在のPINコードを確認する」で「Yes」を指定した場合の不具合を修正しました。

▶ ent-5.1.2

管理ツールにおけるXSS脆弱性を修正しました。
CVSS基本評価基準値：0.0
（CVSS:3.1/AV:N/AC:L/PR:H/UI:N/S:U/C:N/I:N/A:N）

▶ ent-5.1.3

管理ツールの「ログ閲覧」の「ダウンロード」機能において、検索条件にしたがったダウンロードができない不具合を修正しました。

▶ ent-5.1.4

管理者の権限が「useradmin」の場合に、管理ツールの「ユーザ管理」において、「新規作成」メニュー内の「グループ名検索」をクリックすると403エラーになる不具合を修正しました。

▶ ent-5.1.5

クライアント証明書ダウンロード機能における認可処理の脆弱性を修正しました。
CVSS基本評価基準値：4.8
（CVSS:3.1/AV:N/AC:H/PR:N/UI:N/S:U/C:L/I:L/A:N）

▶ ent-5.1.6

RADIUS 認証時に、PEAP（TLS トンネル）を使用しない単体の EAP-MSCHAPv2 方式を利用可能とするリビジョンアップです。

【リビジョンアップ時のサービス停止】

- ・リビジョンアップ時に、httpd/passlogic-pgpool/passlogic-pgsql/radiusd を停止する必要はありません。
- ・PHPファイルを入れ替えるため、アクセスが少ない時間帯に適用するか、アクセスを制限して適用することを推奨します。
- ・リビジョンアップ後、radiusd のサービスを再起動する必要があります。
再起動に伴い、一時的に通信が中断します。アクセスが少ない時間帯に適用するか、サービスを制限して適用してください。

※) radiusd 再起動コマンド
systemctl restart radiusd

【リビジョンアップ手順】

/usr/local/src にリビジョンアップパッケージをコピーした場合のコマンド例

(root 権限で実行)

```
# cd /usr/local/src
# tar zxvf PassLogic-ent-5.1.6-el8.tar.gz
# cd passlogic-ent-5.1.6
# ./install.sh update
```

ent-5.1.6 へのアップデートを開始しますか？ - Would you like to start the update? [yes/no]
(yes を入力してください)

install.sh 実行終了時下記のメッセージを表示します。

アップデートが完了しました。現在のバージョンは ent-5.1.6 です。 - The update has been completed. The current version is ent-5.1.6. (正常終了)

上記メッセージが表示されない場合は、サポートにお問い合わせください。

install.sh 実行後、リビジョンアップパッケージを展開したディレクトリには、切り戻し用のバックアップファイルが保存されます。このディレクトリを削除した場合、切り戻し処理は実施できなくなります。

※) リビジョンアップ後に、radiusd の再起動が必要です。詳細は以下をご参照ください。
ent-5.1.6/README_6.txt

【リビジョン切り戻し手順】

/usr/local/src にリビジョンアップパッケージをコピーした場合のコマンド例 (*1)

(root 権限で実行)

```
# cd /usr/local/src/passlogic-ent-5.1.6
# ./install.sh revert
```

ent-5.1.w に切り戻しますか？ - Would you like to roll back ? [yes/no]
(yes を入力してください)

install.sh 実行終了時下記のメッセージを表示します。 (*1)

切り戻しが完了しました。現在のバージョンは ent-5.1.w です。 - The revert has been completed. The current version is ent-5.1.w . (正常終了)

上記メッセージが表示されない場合は、サポートにお問い合わせください。

*1) passlogic-ent-5.1.6 をインストールする前のバージョンが ent-5.1.w だった場合の例

※) リビジョン切り戻し後に、radiusd の再起動が必要です。詳細は以下をご参照ください。
ent-5.1.6/README_6.txt

【リビジョンアップ後の PassLogic のアンインストールについて】

リビジョンアップスクリプトには uninstall オプションがありません。

リビジョンアップ後に PassLogic 自体を完全にアンインストールする場合、以下（１）、（２）のいずれかの方法で行ってください。

- 1) ent-5.1.0 までリビジョンの切り戻しを実行後、PassLogic ent-5.1.0 のパッケージに付属のインストーラでアンインストール
- 2) /opt/passlogic/VERSION に記載されているリビジョンを ent-5.1.0 にして、ent-5.1.0 のパッケージに付属のインストーラでアンインストール

※）アンインストールの手順は「PassLogic Enterprise Edition Ver.5.1.0 インストールガイド」の「４ アンインストール」をご参照ください。

【各リビジョンのREADMEについて】

各リビジョンのREADMEは、以下にありますので、ご確認ください。passlogic-ent-5.1.6Rev.zip の構成は以下のとおりです。

ent-5.1.6リビジョン説明書.pdf	本資料
PassLogic-ent-5.1.6-el8.tar.gz	
└─ passlogic-ent-5.1.6	
│ └─ ent-5.1.1	
│ │ └─ README_1.txt	ent-5.1.1のREADME
│ └─ ent-5.1.2	
│ │ └─ README_2.txt	ent-5.1.2のREADME
│ └─ ent-5.1.3	
│ │ └─ README_3.txt	ent-5.1.3のREADME
│ └─ ent-5.1.4	
│ │ └─ README_4.txt	ent-5.1.4のREADME
│ └─ ent-5.1.5	
│ │ └─ README_5.txt	ent-5.1.5のREADME
└─ ent-5.1.6	
│ └─ README_6.txt	ent-5.1.6のREADME